

## 2023年フクシマ連帯キャラバンに参加して

全港湾東北地方ひたち支部青年女性部

幹事 菊池 優介

今回初めてフクシマ連帯キャラバン茨城行動に参加しました。私は、Cコースで、大洗町、銚田市、茨城町、笠間市、茨城県庁、水戸市に行き原発再稼働反対について要請書を提出しました。まず大洗町では原発事故の被害について、とても親身になってくださり原発を稼働させる場合には、避難経路の策定が大前提であると話をして頂きました。また、大洗町は、海洋放出についても海に面している土地柄の為、問題意識を持っている印象でした。銚田市、茨城町、笠間市に関しては、避難経路の重要性を理解していながらも当たり障りの無い答えであり、地域住民の声を聞きながら慎重に進めていく必要があるとのことでした。原発稼働については、賛成・反対の明確な答えはありませんでした。茨城県庁に関しては、事前にアポイントを取っているにも関わらず担当者の対応がとても雑だと感じました。他の市役所の方々は丁寧に接し説明をして頂けたましたが、茨城県庁は、仕事が忙しいからの理由で真剣に原発問題や海洋放出に関しての私たちの要請書を聞いていただけていない印象を受け残念でした。

各市町村を回り、それぞれ意見がある中で、私たちの脱原発の意見を主張でき、いい経験になりました。

フクシマ連帯キャラバン茨城行動に初参加して老朽化した原発が再稼働し事故が起きた際の危険性や私たちの生まれ育った故郷に住めなくなるなど、原発稼働には大きなリスクが伴うことを身に染みてわかりました。

他人事としてとらえるのではなく、危険は常に近くにあり安全に向かう為には、私たち一人一人が考え行動することが必要であるとフクシマ連帯キャラバン茨城行動を通じて知る事ができました。廃炉に向かって進めるように私自身が出来る事を行っていきたいと思います。